

Topic 1 生産体制の拡充 (6拠点増設)

継続的に拡大しているユニットハウスの出荷や、2020年東京オリンピック等で見込まれる大規模需要に対応するため、今期も6か所の生産物流拠点を拡充いたしました。

つくば工場は、既存建屋への増築を6月に完了し面積を大幅に拡大、あわせて新規設備導入による作業の自動化を進め、供給能力を増強いたしました。同じく量産工場の新潟工場についても、敷地内に建屋を新設して溶接ライン・塗装ラインを増設、供給能力を拡充するとともに、作業環境や製品品質についても向上を図っております。

関西・中国・九州の各地域も供給体制を強化いたしまし



つくば工場・外観



久留米工場内観



京都工場・外観



新潟工場・外観

た。関西地域については、姫路工場に新たに建屋を設立し塗装設備を導入、京都サービスセンターにも2019年2月に第二倉庫が完成いたしました。大型物件への対応能力を高め、受注拡大と原価低減へとつなげてまいります。

中国・九州地域については、昨年の広島工場新設に続き、8月には岡山に工場および物流センターを開設、久留米工場にも3月に新たに建屋を建設しました。これらにより供給能力は飛躍的に高まっております。

今後も全国の生産物流拠点の整備を進め、供給能力の拡充と製品品質向上を図り、市場拡大を目指してまいります。

Topic 2 シンガポール支店設立

2018年10月17日にシンガポールに支店を設立し、活動を開始いたしました。

2019年3月末現在、現地スタッフ4名を含めた計5名で、進出予定国を含む市場調査やマーケティング活動を行っております。また、WEBサイトの作成も行っており、2019年2月には海外向けのブランドサイトを一新し、当社の企業理念を発信することで、国際的に認知される企業となることを目指しております。

東南アジアでは年々建築市場が拡大しており、ASEANの中心に設立されたシンガポール支店は、東南アジアでの事業拡大に重要な役割を担っております。

今後は、ミャンマーおよびマレーシアに設立した子会社とも協力・連携し、様々なサービスを提供することで、東南アジアに貢献するとともに、世界へ進出する足掛かりとすることを目指します。



Topic 3 MSホールの活用 (外部団体へのご提供)

10年ビジョン達成のメモリアルホールとして2018年10月に完成した「MSホール」にて、日本ラグビー協会のコーチの方々の合同研修会が実施されました。

広い空間を有効に利用し、講義形式だけでなくボールを使った実践形式の研修も行われ、熱のこもった研修が夜遅くまで行われました。また研修後には同じ会場で懇親会も行われ、時間にとられない施設の強みがいかに発揮されました。

利用された方からは、設備や空間は申し分なく、時間を気にせず3日間も使用できることは大変ありがたいと、ご好評をいただいております。

社外の方からのご意見や得られた気付きを活かし、様々な用途やお客様のニーズにお応えできる製品開発につなげてまいります。

